様式３(2020.08改)

作成日　令和2年12月4日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホームひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	今年度はボランティアの受入れの強化を図っていたが、コロナ禍のため見合わせている。 継続している朝市のブースで売り子として地域と交流をしている。 管理者は地域の防災訓練の講師として活躍している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	法人内事業所合同で、多職種の職員が集まり、テーマを決めて開催している。 意見交換の場になっており、サービスにも活かしている。 コロナ禍においても、3密を避け、少人数かつ広い場所で開催している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には区の区民福祉部の職員や地域包括支援センターの職員の出席があり、ホームの状況が随時、区の窓口に伝わっている。 地域包括支援センターの依頼で、消防訓練において車椅子の使用方法に関して講師を務めた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会は多い。 年2回のサービス担当者会議には家族に参加を依頼し、意見や要望を聞いている。 面会時には各利用者の近況を、職員誰もが伝えることができ、家族から「行きやすく安心」「話し易い」といった声がある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍ではあるが3密を避け、参加人数を減らして区・地域包括支援センター・自治会長・家族などが参加し、広い場所に変更して運営推進会議を開催している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										